

令和7年3月

第 312 回定例市議会

---

市長施政方針

はじめに

本日、第 312 回加西市議会定例会の開会に際し、令和 7 年度予算をはじめとする諸案件の審議をお願いするにあたり、お時間をいただき、新年度の市政運営に臨む所信の一端を申し上げ、議員各位、市民の皆さまのご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

本年は、阪神・淡路大震災の発生から 30 年という節目の年を迎えております。昨年の元日に発生した能登半島地震とその後、幾度も被災地を襲った豪雨により多くの尊い人命が失われ、未だに復旧の目途が立たない状況です。また、加西市においても指定されている南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、改めて、市民の生命と財産を守ることが、安全・安心に暮らすうえでの根幹であり、行政最大の責務であることを再認識しました。事前防災の徹底、平時から不断に万全の備えが重要であることから、加西市では、これまでに様々な防災対策を講じてまいりました。とりわけ、令和 6 年度から運用している「かさいライフナビ」では、市や地域から防災・防犯・くらしに役立つ情報をいち早く市民の皆さまにお届けする体制を整え、現在、災害対策本部機能を備えた第二付属棟の開設に向けて準備を進めています。今後もより一層、防災体制の強化を図り災害に強いまちづくりを進めてまいります。

また、昨今の少子化とその結果生じる人口減少もまた「静かなる有事」と言われています。加西市では、昭和 61 年度の 53,056 人をピークとして、人口減少が続いており、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくためには、人口減少の抑制に取り組むと同時に、人口の変化に対応したまちづくりを進めていくことが重要です。

まず、人口減少の抑制については、「若者・女性にも選ばれる」まちを目指し、全国有数の子育て支援施策を継続し、令和 7 年度から新たに公民連携により住宅団地整

備を進め、魅力的な居住環境を提供してまいります。また、加西インター産業団地の整備や病院移転先でのメディカルタウン構想を核とした地域の活性化と雇用促進を図ります。

次に、人口の変化に対応したまちづくりとして、小中学校の再編に取り組んでいます。令和12年度までに中学校を2校、小学校を6校に再編する方針で、まず、令和8年4月に泉地区の4小学校を統合し、新たな「泉小学校」がスタートします。今後、多様な人との関わりと学びの機会を確保するとともに持続可能な教育環境の創出に努めます。また、閉校となる学校の跡地については、活用方法を地域の皆さまと共に考えて、周辺地域との調和を保ちながら地域活性化の拠点となるよう次世代に引き継いでまいります。

私は、加西市の持つ地域資源の潜在力を十分に活用し、魅力を創出することはもとより、「人と人とのつながり」が人口減少を乗り越える力となりうると考えております。国におきましても『地方創生2.0』を基本姿勢として「人を大事にする地域」「楽しく働き、楽しく暮らせる地域」を創ることが示されています。

行政だけではなく、市民一人ひとりが手を取り合い、支えあうことで、地域の課題解決や地域の中で新たなつながりが生まれ、持続可能でより住みやすいまちとなります。今後、大型事業が本格化してまいります。皆さまからのお声をいただき、相互理解を図りながら、将来にわたって市民が希望を持って心豊かに暮らすことができる加西市を創造してまいります。

## 予算編成の基本方針

それでは、令和7年度の予算編成にあたっての基本方針をご説明します。

令和7年度は、小中学校の再編や市立加西病院の移転整備、第二付属棟建設等、50年に一度とも言われる大型事業が本格的に動き出します。多額の費用を要しますが、子育て・教育環境の充実や市民の利便性向上のための重要な事業でありますので、計画的に基金を積み立てるなど、財源を確保したうえで必要な投資を行い、確実に事業を実施してまいります。

あわせて、市民の安全・安心を守り、災害に強いまちづくりを行うため、道路修繕をはじめとするインフラ整備や防犯灯の増設・更新等、一層の防災・防犯対策にも取り組んでまいります。

また、少子高齢化やデジタル技術の発展等、社会のめまぐるしい変化に対応していくとともに、学校再編後の跡地利用をはじめ市内にある資源を最大限に活用し、市民生活が豊かになり、加西市がますます輝くまちとなるための有効な施策を展開してまいります。

一方、大型事業の実施や人件費の増加、物価高の影響により歳出額が大幅に増加する中、自主財源として大きく依存してきたふるさと納税が増収を見込めないため、これまで以上に厳しい財政運営を強いられることとなります。

このため、行財政改革にも取り組み、業務の実施にあたってはコンサルタント等への安易な委託に頼ることなく、職員がこれまで培った知識・能力・経験を活かして自身で遂行するとともに、事業開始から時間が経過し効果や意義が薄れた補助事業等については廃止・縮小を行うなど、歳出削減に努め一般財源負担を縮減してまいります。

これらを踏まえ、行政に求められる市民ニーズに応じて事業の厳選を行い、予算配分の重点化、効率化を進めるとともに、国・県の補助金や交付税算入率の高い起債、ふるさと納税等を最大限活用し、公債費の抑制、財政調整基金の確保に努め、財政規律を堅持し健全な財政運営を守るという方針のもと予算編成を行ってまいりました。

## 令和7年度の主要な施策

新年度に取り組む主要な施策を、「第6次加西市総合計画」に掲げる4つの基本方針に沿って申し上げます。

### 【基本方針1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ】

1つ目は、「子育てを応援し、暮らしを愉しむ」ための施策です。

#### (政策1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実)

出産前の支援として、不妊症ペア検査、不育症治療にかかる費用に対し助成を行い、経済的負担の軽減を図ります。妊娠期から出産・子育て期においては各種教室・健診を行うとともに保護者の相談に専門職が応じ、安心して子育てができるよう切れ目のない支援に努めます。また、産後ケア事業を誰もが等しく利用できるサービスとして浸透させていくために、お試しで利用できる無料券を配布し、育児をしやすい環境を整えていきます。

子育て支援の推進として、保育教諭や学童支援員の確保及び質の向上を図り、乳幼児・児童の受け入れ体制を充実させると同時に、学童保育園の待機児童解消のため、北条東第3学童保育園の整備を進めます。

さらに、1歳から中学生までと産婦を対象とした季節性インフルエンザワクチンの一部助成、おたふくかぜ予防接種の2回助成を引き続き実施してまいります。また、すくすく子育て定期便による育児の孤立化の予防や見守り支援、子育て相談を行いつつ、子育てに悩んでいる保護者に対して、健全な親子関係の形成に向けた知識や手法を身につける講座を開催します。

現在、本庁と健康福祉会館の分離型で設置しているこども家庭センターでは、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が連携した一体的な相談支援をはじめ、新たに個別サポートプランの作成や合同ケース会議の開催などを通して、健康保持増進や福祉に関する包括的かつ継続的な専門性を活かした支援と虐待予防に努めます。

## （政策2 子どもの教育の充実）

魅力ある加西の教育の実現を目指し、「基礎基本の定着」「考える力を伸ばす教育」「グローバル教育」からなる加西の教育3本の矢の推進により、挑戦する力・協働する力・創造する力を備えた新しい時代に対応する次世代型人材を育成します。そして、「学力向上」、「中1ギャップの解消」、「教師力の向上」を重点目標に、発達や学びの連続性を保つ小・中学校の連携教育を進めると同時に、円滑な学校統合に向けて、小学校間、中学校間の連携した交流活動を推進します。探求的な資質の育成を図るため、令和7年4月に開幕する大阪・関西万博に小学5・6年生を無料で招待します。また、世界的な女性指揮者を招き、市内の子どもに対し音楽を題材にした体験型授業を行います。

北条高校活性化協議会と連携しながら北条高校の活性化を進めていくとともに、播磨農業高校の地域交流活動を支援します。

学校再編については、泉小学校の大規模改修・増築工事を行うとともにスクールバスの乗降場、駐車場整備に取り組みます。また、統合中学校の実施設計を行い、造成工事に着手します。

いじめ・不登校対策として、専門知識とスキルをもった学校サポートチームによる支援を充実させます。特に全国的にも増加傾向である不登校については、教育支援センター「ふれあいホーム」、全中学校に開室した「校内フリースクール」により支援体制を整えます。

また、学校運営協議会により、学校と地域住民、保護者が力を合わせ、地域全体で学校の運営や子どもの成長を支えていく「地域とともにある学校」を推進しながら、「開校準備委員会」を設置し、保護者や地域の方々との議論を進め、統合する小中学校の開校に向けて取り組んでいきます。

## （政策3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり）

幅広い世代の方が生涯にわたって学び、楽しめる環境づくりを推進するため、公民館・オークタウン加西の特色を活かした活動や公民館登録グループの社会貢献活動を推進します。

図書館では、幅広い世代に向けた読書定着への取組を進めるとともに、電子図書館など簡単で便利な図書館サービスを提供します。

スポーツを推進するための環境整備として、総合運動公園の建設に向けた具体的な方針を決定していくとともに、既存施設の改修など施設利用者の利便性の向上を図り、スポーツ少年団やスポーツ協会、文化連盟等の文化・スポーツ活動団体の活動を支援し、講習会等の開催により指導者の育成を目指します。

各種講座等、身体とこころの健康についての支援体制を整え、誰もが健やかに暮らすことができる取組を行います。

運動ポイント事業では、年間通して歩くことによる健康づくりに取り組まれた方を表彰する「健康ランキング」や、アプリのグループ機能を活用したイベントの開催により、楽しみながら健康づくりに取り組めるよう事業を実施します。

町ぐるみ健診、医療機関健診などを受診しやすい体制を整え、生活習慣病予防と重症化予防に努め、がん好発年齢層をターゲットに個別勧奨を実施します。

#### **(政策4 暮らしを支える福祉・医療の充実)**

住み慣れた地域でいきいきと自立した自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムを深化させます。

認知症対策では、「認知症基本法」の基本理念に基づき、市民・行政・事業者が連携して、認知症になっても誰もが住み慣れた地域で暮らしていける地域づくりを目指します。また、障がいのある人の重度化・高齢化・孤立化を見据えた居住支援のため、地域生活支援拠点の活用と人材育成を進めるとともに、相談支援専門員の確保に努め、聴覚障がい者に対しては、安心して相談や手続ができる体制を築くほか、手話の一層の普及啓発を図ります。

生活困窮者に対しては、地元企業の協力を得ながら一般就労への支援を行い、就労準備施設での就労訓練を通して、就労・自立につながる取組を行います。福祉的な援助が必要な子どもへは、学習支援事業やひきこもり対策事業を拡充し、社会参加に向けた支援を行っていきます。さらに、子どもの居場所や地域の人々とのつながりの場として、こども食堂の運営を支援していきます。

加西病院では、令和6年1月より外部委員を交えた新病院に係る検討委員会をスタートさせ、令和7年1月に基本構想・基本計画の答申をいただきました。これを基に地域包括ケアシステムにおいて医療の中心的役割を担う病院を目指して、現病院の199床から136床にダウンサイジングさせると同時に、現在の入院患者数に対応できるよう回復期病床の割合を増やしてまいります。令和7年度より、基本設計及び実施設計事業に着手し、令和12年の開院に向けて取り組みます。また、将来にわたり持

続可能な病院運営の確立に資する経営改革にも取り組むとともに、圏域内外の医療機関と役割分担を行い、地域に必要とされる医療の提供に努めます。さらに、医師確保の対策として、院内の医師招へいに向けた体制強化に取り組むとともに、将来、医師として加西病院に勤務をしようとする医学生に対し、奨学金制度により支援してまいります。

## 【基本方針2 活力とにぎわいのあるまちを育む】

2つ目は、「活力とにぎわいのあるまちを育む」ための施策です。

### （政策5 農業の再生と活性化）

新規就農を推進して移住定住者の増加を目指します。地域の担い手となる農業経営体を育成するため、新たに雇用を行う農業経営体に対して支援を行います。また、機械や施設の整備、農耕用大型特殊免許の取得の支援を行うとともに、国の農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を進めていきます。

特産農産物の柱であるブドウについて、市独自の棚整備及び苗木購入の補助を継続しつつ、J A兵庫みらいと協働して新たな振興品種B Kシードレスの特産化を推進します。また、酒米山田錦については、日本農業遺産の選定を受けたことから、山田錦の産地としてのモニターツアーを企画する等P Rを強化し生産振興を図ります。さらに、今まで産地として認知されていなかった高い生産技術力を誇るハボタンを含む花卉（かき）の積極的なP Rを進めます。農業の持続的経営を目指すにあたり、経営の大規模化、広域化、効率化のためのスマート農業の推進、環境制御機能等の施設導入を支援します。

ほ場整備事業では、東高室地区、在田南部地区を推進することでスマート農業技術の導入に最適な環境となり、水稻及び野菜の生産コスト低減並びに生産拡大を図ります。また、未整備農地や2次的整備の必要性が高い地域についても検討してまいります。国が策定した「みどりの食料システム戦略」を推進し、環境や生物多様性に配慮した環境保全型農業の取組を進めます。また、市内に点在するため池については、今後発生が予想される異常気象に備え、計画的な改修を行います。

有害鳥獣被害防止対策として、金網防護柵の設置を基本に、電気防護柵の補助も行い鳥獣による農作物被害の軽減に取り組めます。

### （政策6 商工業の振興と新展開）

事業者が、垣根を越え、新しい価値の創造へ挑戦しやすいように、デジタル化等の事業環境整備の支援に取り組めます。地域内通貨「加西市ねっぴ〜P a y」をより多

くの場面で活用できるようチャージ機を新たに導入するなど利便性を高め、域内における地域経済の活性化とキャッシュレス決済の普及を促進します。また、若者等の起業や事業承継については、商工会議所と連携して創業支援計画を立て創業希望者を支援するとともに、創業ワンストップ相談窓口を設置し、スタートアップ支援や空き店舗活用補助などを行ってまいります。

そして、令和7年度末の実施予定で進めている市街化区域と市街化調整区域の線引きの廃止を見据え、新しい都市計画マスタープランで新都市拠点として打ち出すメディアカルタウン構想と新統合中学校予定地が牽引する「かさいセントラルスクエア」周辺への商業施設の誘致を進めます。

産業用地につきましても、線引き廃止を活かして新たな産業用地の整備や市内企業の拡張・移転支援を加速化させます。

加西インター産業団地では、令和6年度より第2期事業をスタートさせておりますが、引き続き公民連携により、地域経済の成長と雇用確保の基盤となるよう完成に向けて着実に事業を進めます。

さらに、地域企業の雇用情報の提供の強化・充実を図り、市内の雇用力を高める環境づくりを推進し、国が進める働き方改革に沿って、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、子育てに配慮した職場環境づくりなど、市内労働者の働く環境を整える取組を進めます。

### **(政策7 地域資源の活用と人の流れの創出)**

加西市地域活性化拠点施設「sora かさい」及び周辺の地域資源を活用し、民間との連携を図りながら施設の効率的運用に努めてまいります。気球搭乗体験やサイクルツーリズムなど、アクティビティ型コンテンツの充実と交流人口の深化を図りながらリピーター獲得を進めます。また、デジタル技術を活用して地域住民と交流人口を繋ぐ基盤拡充や、そこから生み出される知的財産等を活かした地場産品開発を展開してまいります。

地域で大切に守り伝えられてきた伝統文化の維持継承に対して支援します。国・県指定文化財の適切な保存と保護を図るため、一乗寺をはじめとした各指定文化財の修理事業について補助を行います。

若者世帯の移住・定住による地域の活性化を図るため、新婚世帯の家賃や引っ越し費用に加え、若者世帯の住宅取得に対して補助を行います。

さらに、関係団体と連携し、お試し滞在補助や空き家バンク制度により、空き家の予防対策と活用を進め、古民家・空き家を活用し北条地区と宇仁地区に設置したお試し居住施設を活かして、移住・定住に繋げていきます。

### 【基本方針3 快適に暮らせる安全な社会をつくる】

3つ目は、「快適に暮らせる安全な社会をつくる」ための施策です。

#### （政策8 安全・安心に暮らせる環境の充実）

防災対策では、自主防災組織と消防団の充実を図り、防災訓練の円滑な支援・実施を行っていくとともに、全市的な情報伝達システム「かさいライフナビ」を活用して、防災・防犯情報をはじめ、自治会内の連絡、市広報などの情報発信を行います。また、令和7年度より建設が始まる第二付属棟においては、災害時の防災拠点としての役割を持たせることで、より災害に強いまちづくりを進めてまいります。

防犯対策では、主要な交差点等に防犯カメラを設置し、地域団体の防犯カメラ設置に対する助成を引き続き実施します。

交通安全対策では、高齢者の運転事故防止対策として、車両の安全装置の購入及び設置にかかる費用の一部を引き続き補助します。

また、消費者被害の未然防止・拡大防止に向けた積極的な啓発等、予防に重点を置いた施策を行うとともに、迅速かつ的確な相談体制の強化を図ります。加えて、警察や地域の団体、事業者とも連携して消費者トラブルの未然防止に取り組みます。

#### （政策9 快適な都市空間の創出）

住環境の整備について、市街化区域内においては、令和7年度から新たに北条町東南の低未利用地を活用して住宅地整備を進め、現在の市街化調整区域の均衡ある発展に必要な線引きの廃止については、令和7年度末の実現に向けて、手続きを進めます。また、小中学校再編により発生する学校跡地の活用について、地域の皆さまのご意見を伺いながら住宅地整備や各種施設の誘致を検討していきます。さらに、北条旧市街地では、住環境整備を引き続き進めるとともに、歴史的まち並みの景観保全のため石畳風舗装を行います。

また、令和6年度に設立した地域エネルギー会社と連携して、再エネ電力の地産地消と市内の脱炭素化に向けた取組を加速させていきます。そして、地域経済の更なる活性化や新たな環境政策に繋げていくことで「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち加西」を実現してまいります。効率的に電気を活用したスマートなまちづくりを進めていくために、市民には、太陽光発電設備や蓄電池の整備に加え、電気自動車への転換にかかる補助を行います。

ごみ対策では、リサイクル推進に対する補助事業を継続的に実施するとともに、不法投棄・野焼き防止に向けた啓発、災害時に円滑かつ迅速なごみ処理ができるよう取組を進めていきます。また、小野市、加東市と共同で建設を予定する新ごみ処理施設につい

て、互いに連携を図りながら、効率的で環境に配慮したごみ処理施設の計画を進めます。一方、老朽化した焼却施設の安全や環境への影響が懸念されるため、加西市クリーンセンターの解体に向けた計画を進めます。

生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進するため、「あびき湿原」等の貴重な生態系の保全を地域住民と推進し、希少生物の生息状況について植生等の調査を行うとともに、生態系調査を取りまとめ、環境学習の推進及び地域の活性化への利活用を図ります。

#### **(政策10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備)**

道路網整備では、幹線市道の改良工事を計画的に実施するとともに、国道、県道の整備を県と共に進めます。特に、国道372号加西バイパスの整備について県と連携を図り、着実に取り組んでいきます。また、地域要望への対応に重点を置き、市民生活に欠かせない市道の修繕や通学路の積極的な整備を進めるとともに、河川や橋梁の計画的な修繕により安全確保に努め、都市公園等についても、適切な維持管理を行うことで活用の促進を図ります。

水道事業及び下水道事業では、引き続き経営戦略に基づき、持続可能な経営に努めるとともに、令和7年度末に市川町からの水道水の供給を終了し、県営水道に一本化することにより更なる経営の効率化に努めてまいります。

公共交通に関しては、「加西市地域公共交通計画」に基づき、北条鉄道、路線バス、コミュニティバスや地域主体型交通がそれぞれの役割を分担しながら、市民の移動需要に応える交通ネットワークの整備に努めます。スクールバスとの連携、コミュニティバス KASAI ねっぴ〜号の路線・ダイヤの見直しの検討や、北条鉄道への ICOCA システムの導入を通じて、将来を見据え市民の利便性を考えた公共交通を目指してまいります。

#### **【基本方針4 ともに活躍しまちの魅力を高める】**

4つ目は、「ともに活躍しまちの魅力を高める」ための施策です。

#### **(政策11 協創のまちづくりの推進)**

今後の地域づくりの目標や方向性を示した「加西市地域づくりのあり方指針」に基づき、地域と一体となって地域づくりを進めるとともに、各地区における活動拠点の確立を支援します。そして、若者や女性が活躍できる環境を整備することで、まちの魅力を高め、移住・定住につなげていきます。

ふるさと納税については、ポータルサイトへのアクセスを高める取組や魅力的な返礼品の開発・発掘を進めてまいります。

また、加西市の食文化を誘客につなげる「食」を事業者と協働で開発を進めるほか、地域資源を活用したイベントの開催、SNS等を活用した魅力の情報発信を行うとともに、観光事業者向けプロモーションを充実させ、関係人口・交流人口の増加につながるよう取り組んでいきます。

広報・広聴の充実に向け、読者に伝わり、親しみを持たれる広報紙の作成に努め、各種施策やサービス・制度の周知を図るとともに、報道機関への効果的な情報提供を図るほか、市公式LINEの活用を進め、一人ひとりに寄り添った情報をタイムリーに発信していきます。

また、市長への手紙やタウンミーティング等を通じ、積極的に市民のニーズを把握し、市民の皆さまから寄せられる提案や要望、意見に対し、適切かつ迅速な対応を行います。

### **(政策12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現)**

「加西市人権尊重のまちづくり条例」の趣旨を踏まえ、年齢や国籍、性的指向や性自認などにかかわらず、誰もが自分らしく生きられる地域づくりを目指して、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。児童虐待及びドメスティック・バイオレンス対策では、迅速な被害者保護と安全確保に努めます。また、障がいのある人への理解の促進や権利擁護の推進に取り組むとともに、高齢者の権利擁護に関わる相談などに対し、迅速で適切な対応に努め、互いに支え合いながら自己実現できる地域社会づくりを目指した「北はりま成年後見支援センター」を令和7年1月に設置しており、地域共生社会の実現に向けた権利擁護支援の推進を図ります。

女性の雇用促進のため、ふるさとハローワークによるきめ細かい就労支援やセミナーの開催、情報発信に努めます。また、今後も増加が見込まれる外国人市民との多文化共生社会を実現するため、これまでの日本語教育事業の強化及び居場所づくり事業の推進に加え、外国人の生活支援と市民との交流拠点として「加西市グローバルセンター」を設置します。これにより、企業・団体とも連携して多文化共生の推進体制を強化し、事業の拡充を図ることで、外国人と日本人の誰もが住みやすいまちづくりを実施します。

### **(政策13 効率的で持続可能な行財政の推進)**

行政サービスの効率化や質の向上を図るため、行政事務の電子化をさらに推進します。また、「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設の最適化を推進し、市民にとって必要なサービスを維持できる公共施設等の配置と、新たな課題やニーズにも対応できるよう取り組むほか、加西市DX推進計画に基づき、デジタル技術を活用し

て市民生活の利便性向上や地域社会の課題解決、地域産業の活性化に取り組みます。

北播磨広域定住自立圏や播磨圏域連携中枢都市圏をはじめ、一部事務組合の取り組みにより、近隣自治体との連携を進めていくとともに、民間活力を活用し、まちづくりの活性化と行政サービスの向上を図るため、大学や企業等との連携を強化します。

「SDGs 未来都市」として、個人や企業・団体等による SDGs に通じた地域貢献活動を支援するとともに、様々な主体が協働し、新たなサービスや取組が創出されていく「幸福度」の高いまちを目指します。

## 最後に

以上、令和7年度施政方針に基づき、今定例会に提案させていただいております「令和7年度当初予算案」をはじめ、各議案につきまして、ご審議をよろしくお願い申し上げます。

これから、大規模事業が本格化してまいります。将来にわたって加西市が発展していくためには、計画的に基金を積み立てるとともに、行財政改革にも取り組み財源を確保することが重要です。持続可能なまちづくりのため、健全な財政運営を堅持しながら、市民の皆さまと共に未来を創るため、これからも皆さまの声を大切にし、地域の発展と市民の幸福の実現に向けて全力を尽くす所存であります。

議員各位、市民の皆さまのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。